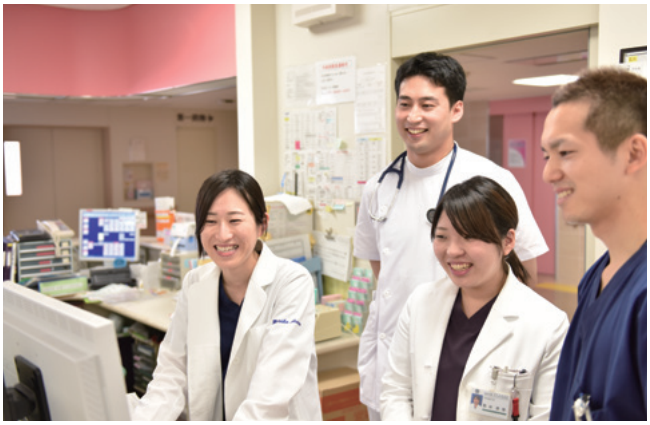
呼吸器専門医プログラム

プログラム責任者
呼吸器内科学講座
中山　勝敏　教授



専門研修担当者連絡先
佐藤　一洋　特任准教授
TEL.018-801-7510　FAX.018-801-7509
E-mail　kazuhiro@doc.med.akita-u.ac.jp
HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~kokyuuki/

プログラムの特徴

呼吸器疾患は腫瘍、感染症、アレルギー、機能的肺疾患、自己免疫疾患など多様であり、診断にも治療にも日々強い興味をもって診療できます。患者数も増加しており、社会的ニーズの非常に高い分野です。病態を知るうえで多くの知識や深い思考も要しますが、時間的な拘束や夜間の対応が少ないため子育てをする女性医師にも学びやすい分野です。

初期研修で全般的な技能を身につけた後、呼吸器疾患を中心に一般内科から救急医療にいたるまでの診療をしっかりと習得し、専門医取得を目指します。呼吸器専門医は総合内科専門医取得後、認定施設での3年間以上の研修を行えば専門医試験を受験できます。

専門医の短期取得を目指すコースと研究を志し大学院へ進むコースとがありますが、社会人大学院生のシステムを使い、両立させることが可能です。

プログラムの説明

①専門医取得コース

医員として主に臨床研修を中心に行うコースです。並行してアレルギーや感染症関係の専門医も取得できるため、大学のみならず、関連病院での研修も行い短期間での専門医取得を目指します。大学院生とならずとも、日々の臨床に即した研究や学会発表を行えますが、希望があれば途中から大学院への入学も可能です。

②専門医取得＋社会人大学院コース

大学院生として研修を行いつつ、内科や呼吸器専門医などの取得と共に、医学博士取得を目指すコースです。臨床研修に加え、主に2～4年目で研究を行い、成果を国内外へ発信します。社会人大学院生であるため、収入も医員と同等であり、生活は保障されます。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

■各種学会認定専門医数

内科認定医:9名、総合内科専門医:5名、呼吸器専門医:8名、呼吸器指導医:4名、アレルギー専門医:5名、アレルギー指導医:3名、感染症専門医:1名、結核抗酸菌症認定医:3名、結核抗酸菌症指導医:1名、老年医学専門医:1名、老年医学指導医:1名、プライマリケア学会認定医:1名

■各種学会施設認定

日本内科学会教育病院、日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定施設

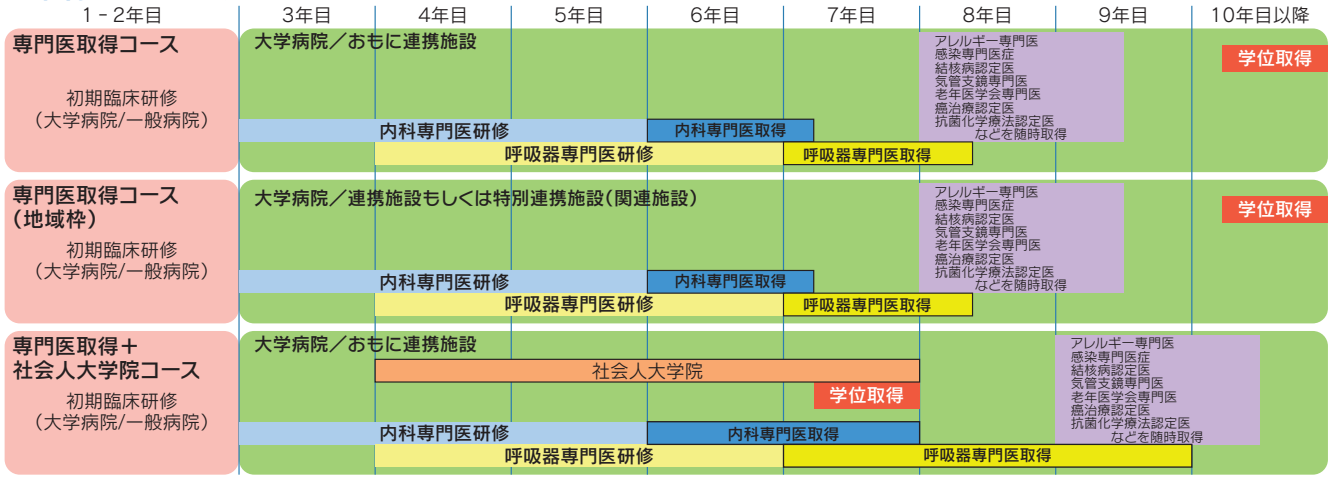
■指導担当医師数と出身大学・出身高校

○指導担当医数…10名
○主な出身大学医学部…秋田大学、東北大学
○主な出身高校…秋田高校、能代高校、横手高校、大館鳳鳴高校、札幌南高校（北海道）、盛岡第一高校（岩手）、三条高校（新潟）、郁文館高校（東京）、掛川西高校（静岡）、玉野光南高校（岡山）、気仙沼高校（宮城）、日比谷高校（東京）、東海高校（愛知）

■主な関連病院

秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、能代厚生医療センター、外旭川病院、藤原記念病院

■取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャルティ:呼吸器専門医、アレルギー専門医、感染症専門医など